

NY マーケットレポート (2017 年 6 月 7 日)

NY 市場では、主要な米国の経済指標の発表がないことや、英国の総選挙、米 FBI 前長官の公聴会、ECB 理事会などを控えて様子見ムードも強まっており、序盤はやや限定的な動きとなった。ただ、日銀が景気判断の引き上げ検討との報道を受けて、ドル円・クロス円は堅調な動きとなったものの、原油価格の急落や株価下落を受けて、再び円が買われる動きとなった。終盤には、米上院特別情報委員会が、FBI 前長官の冒頭証言の原稿を公表したが、目新しい情報がなかったことから、ドルは底固い動きとなった。

2017年 6月7日 (水)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	109.31	109.63	109.21
EUR/JPY	123.01	123.52	122.91
GBP/JPY	140.94	141.47	140.83
AUD/JPY	82.53	82.66	82.08
EUR/USD	1.1254	1.1282	1.1247

LONDON	高値	安値
USD/JPY	109.52	109.12
EUR/JPY	123.16	122.63
GBP/JPY	141.32	140.75
AUD/JPY	82.77	82.40
EUR/USD	1.1277	1.1204

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	109.81	109.88	109.23
EUR/JPY	123.68	123.73	122.74
GBP/JPY	142.28	142.38	141.15
AUD/JPY	82.93	82.94	82.55
NZD/JPY	79.02	79.05	78.64
EUR/USD	1.1264	1.1282	1.1214
AUD/USD	0.7553	0.7566	0.7543

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	21173.69	+37.46
S&P500	2433.14	+3.81
NASDAQ	6297.38	+22.32
日経225 (CME)	19955	+50
トロント総合	15372.14	-92.42
ボルサ指数	49274.97	+56.35
ボベスパ指数	63170.73	+216.04

6/8 経済指標スケジュール

08:01	【英国】5月RICS住宅価格
08:50	【日本】1Q GDP
08:50	【日本】4月貿易収支
08:50	【日本】4月経常収支
10:30	【オーストラリア】4月貿易収支
11:00	【中国】5月貿易収支(時間不確定)
13:30	【日本】5月企業倒産件数
14:00	【日本】5月景気ウォッチャー調査
14:45	【スイス】5月失業率
15:00	【ドイツ】4月鉱工業生産
15:00	【ノルウェー】4月鉱工業生産
15:45	【フランス】4月経常収支
15:45	【フランス】4月貿易収支
16:00	【トルコ】4月鉱工業生産
16:15	【スイス】5月消費者物価指数
16:30	【スウェーデン】5月財政収支
18:00	【欧州】1Q GDP
18:30	【南アフリカ】4月金・鉱物生産量
20:00	【南アフリカ】4月製造業生産
20:45	【欧州】政策金利発表
21:15	【カナダ】5月住宅着工件数
21:30	【米国】新規失業保険申請件数
21:30	【米国】失業保険継続受給者数
21:30	【カナダ】4月新築住宅価格指数
22:00	【メキシコ】5月消費者物価指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1293.20	-4.30
NY 原油	45.72	-2.47
CME コーン	384.75	+7.50
CBOT 大豆	930.75	+7.25

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.310%	1.290%
3年債	1.448%	1.418%
5年債	1.738%	1.709%
7年債	1.986%	1.954%
10年債	2.176%	2.143%
30年債	2.838%	2.810%

ドイツ10年債	0.269%	0.252%
英国 10年債	1.001%	0.984%

6/8 主要会議・講演・その他予定

- ・ECB理事会 ドラギ総裁 定例会見
- ・英議会選挙
- ・コミーFBI前長官の公聴会

出所：SBILM

NY 市場レポート

20 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

米 MBA 住宅ローン申請指数（前週比） 7.1%（前回 -3.4%）



出所 : Bloomberg

指標結果データ

◀MBA 住宅ローン申請指数▶

	6/2	5/26	5/19	5/12	5/5	前年同期
申請指数	7.1	-3.4	4.4	-4.1	2.4	-17.3
購入	10.0	-1.4	-0.8	-2.7	1.7	4.8
借換え	3.4	-5.6	10.5	-5.7	3.3	-33.9
固定金利	7.4	-2.8	4.2	-3.9	2.6	-19.4
変動金利	3.7	-9.3	5.9	-5.8	0.4	23.4

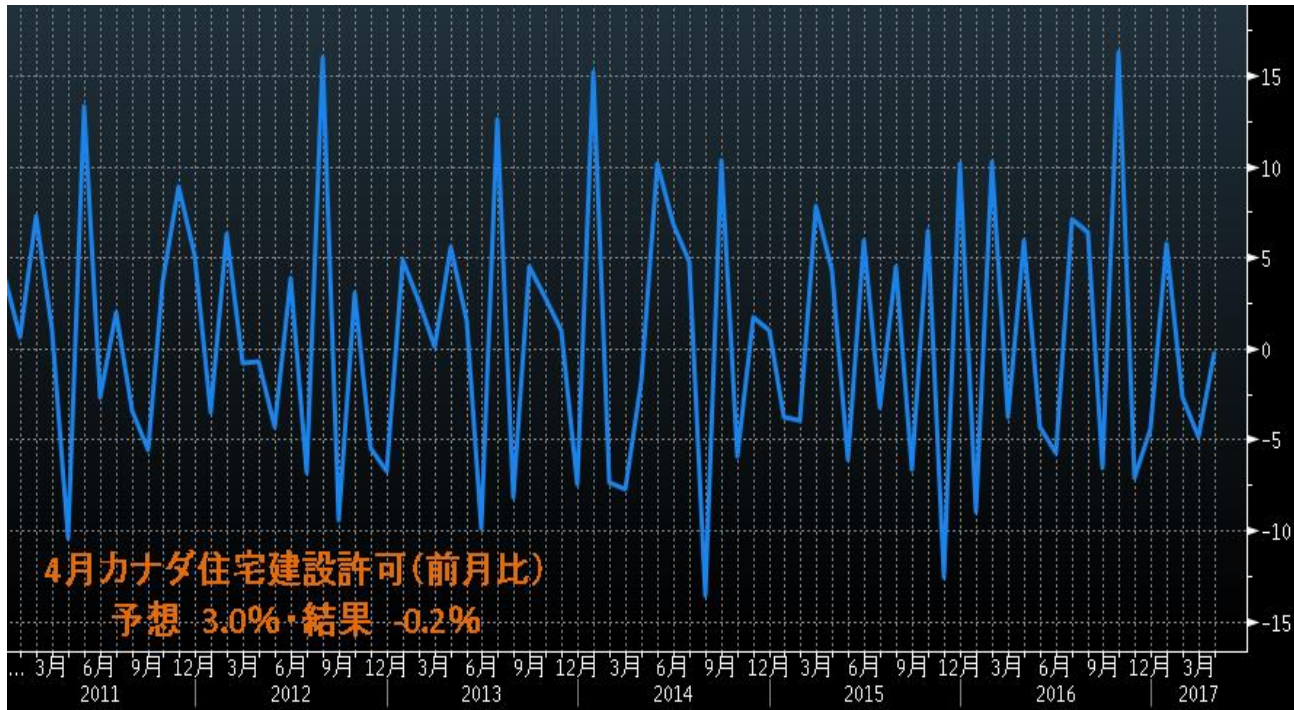
固定金利 30 年 ・ 4.14 ・ 4.17 ・ 4.17 ・ 4.23 ・ 4.23

固定金利 15 年 ・ 3.39 ・ 3.42 ・ 3.45 ・ 3.51 ・ 3.50

21 : 30

≪ 経済指標の結果 ≫

4 月カナダ住宅建設許可（前月比） -0.2%（予想 3.0%・前回 -4.9%）
 前回発表の-5.8%から-4.9%に修正



出所：Bloomberg

22 : 20

日銀、景気判断引き上げ検討、早ければ今月にも

日銀は、「緩やかな拡大に転じつつある」としている景気の総括判断を引き上げる検討に入った。前回4月の金融政策決定会合で「拡大」との表現を9年ぶりに使って上方修正したばかりだが、その後も好調な生産や雇用情勢を背景に「需給ギャップ」の改善が続いている。早ければ15、16日の次回会合で、遅くとも7月会合までに決める見通しとの報道。

23 : 30

≪EIA 米週間在庫統計≫

原油在庫・・・330 万バレル増加
 ガソリン在庫・・・332 万バレル増加
 留出油在庫・・・435 万バレル増加
 クッシングの原油在庫・・・144 万バレル減少

≪ポイント≫

OECD（経済協力開発機構）は、米経済見通しが弱めだが貿易の回復で世界経済が今年、2011 年以来の高成長を記録するとの見通しを示した。今年の世界経済は3.5%、来年は3.6%成長するとみている。今年の成長率は前回の3.3%から上方修正した。米国の成長見通しは、今年は2.1%、来年は2.4%に下方修正した。ユーロ圏の成長率は今年・来年とも1.8%成長に上方修正。日本の成長率は、今年は1.4%、来年は1.0%成長に上方修正。中国は、今年は6.6%に、来年は6.4%に小幅上方修正した。

◀ NY 債券市場 ・ 午前 ▶

序盤のニューヨーク債券市場は、8 日の英総選挙や ECB 理事会、米 FBI のコミー前長官の議会証言を前に積極的な取引が手控えられ、狭い範囲でもみ合う展開となった。

午前の利回りは、30 年債が 2.81%（前日 2.81%）、10 年債が 2.15%（2.14%）、7 年債が 1.96%（1.96%）、5 年債が 1.72%（1.71%）、3 年債が 1.43%（1.42%）、2 年債が 1.30%（1.30%）。

◀ 欧州株式市場 ▶

欧州株式市場は、8 日の英総選挙や ECB 理事会、米 FBI 前長官の議会証言を前に神経質な取引となり、主要株価は続落となった。特に、英 FT100 指数は原油安を嫌気した売りも出て、下げ幅を拡大した。



出所：Bloomberg

2 : 50

米上院特別情報委員会、コミー氏の冒頭証言原稿を公表

- ・「トランプ大統領は 1 月 27 日の夕食時、忠誠を求めた」
- ・「トランプ大統領はフリン氏捜査の終了希望を述べた」
- ・「1 月 6 日、トランプ氏個人は捜査対象ではないと告げた」

＜ NY 金市場 ＞

NY 金は、中心限月が前日比 4.30 ドル安の 1 オンス=1293.20 ドルで取引を終了した。

NY 金は、英総選挙や米 FBI のコミー前長官の議会証言などを控えて逃避的な買いが先行した。その後は、ドルが主要通貨に対して上昇したためドルの代替資産としての需要が後退し下落に転じた。



出所：Bloomberg

＜ NY 原油市場 ＞

NY 原油は、中心限月が前日比 2.47 ドル安の 1 バレル=45.72 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、米石油統計で原油在庫が市場の予想に反して増加したほか、ガソリンや石油精製品の在庫も増えたことで需給の緩みに対する警戒感が強まり、売りが優勢となった。終値ベースでは約 1 ヶ月ぶりの安値となった。



出所：Bloomberg

《米株式市場》

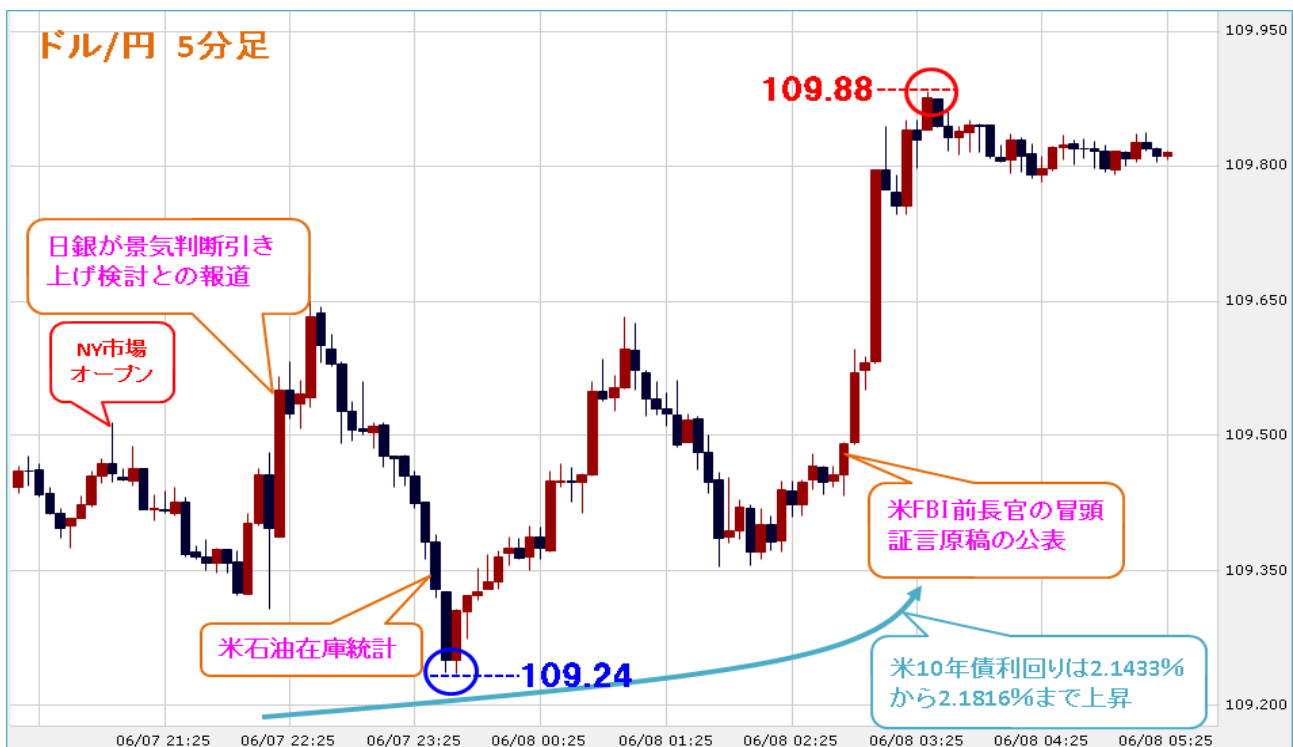
米株式市場は、米長期金利の上昇で収益改善が意識され金融株などが買われた。その後は原油価格の急落を受けて一時マイナス圏まで下落する場面もあったが、その後は値を戻す動きとなった。ただ、英国の総選挙と ECB 理事会、米 FBI のコミー前長官の議会証言を控えて様子見ムードも出ており、主要株価が限定的な動きとなった。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤からドル円・クロス円は堅調な動きとなったが、イベントを控えて様子見ムードも強まっており、やや限定的な動きが続いた。その後、一時マイナス圏に下落した株価が堅調な動きとなったことや、米国債利回りが上昇したことを受けて、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。